

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 期待外れを乗り越える動機づけの神経メカニズム
2. 研究代表者： 小川 正晃（滋賀医科大学 医学部 生理学講座 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、心理学で想定される「期待が外れてもそれを乗り越える動機づけ」に着目し、その動機づけを調べる動物行動モデルと生物学との先端的融合に挑戦することで、動機づけの神経メカニズムを理解し、こころの生物学的メカニズムを解明する新たな研究領域を創出することを目指すとしている。その成果は、動機づけの異常に関わる精神・神経疾患の症状の理解や治療、教育法などの変革につながることを期待される。フェーズ1では期待外れを乗り越える新たなドーパミン神経回路を同定、独自の発見は高く評価できる。フェーズ2では計算論的モデリングと、一細胞レベルでの活動解析を行い、神経回路レベルでの解明も含め、今後の発展と展開に期待する。

以上